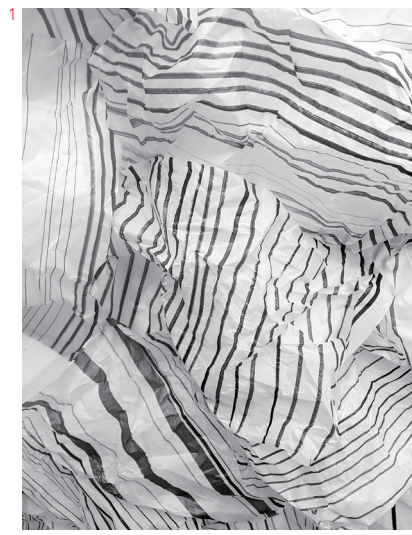


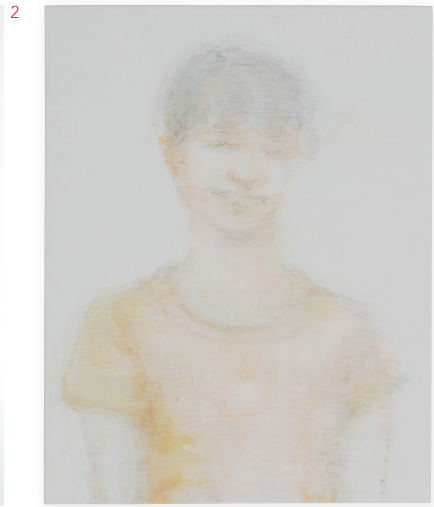
子午線(日本標準時子午線)は、西脇市を含めて、兵庫県内10市と県外2市を南北に貫いており、東経135度と北緯35度が交差する西脇市は日本列島の中心にあたることから「日本のへそ」と呼ばれて親しまれています。この「日本のへそ」を中心につくられた「日本へそ公園」内に1984年に開館した当美術館では、子午線が通る地域で活躍する芸術家の代表作品を紹介する展覧会を「子午線上のアート」展と題して、2020年から始め、本展覧会で2回目となります。

今回は、豊岡市にアトリエを構えて創作活動を行う二人の作家、美藤圭による斬新なアイデアと創意に満ちた木彫作品と、美藤まり奈による繊細で個性的な絵画作品を紹介します。また、西脇市からは、空間をまるごと使って紙や糸を巧みに用いて多様な表現を展開するAYUMI ADACHIによるインスタレーション作品を展示します。

本展覧会を通じ、子午線上を拠点に活動を行う、個性も表現手法も異なるアーティストが創り出す多様な世界の魅力に迫ります。



- 1 AYUMI ADACHI
《Setsuna 刹那》2019年
撮影者 AYUMI ADACHI
 - 2 美藤圭
《people of peace-87》
2024年 撮影者 富樫実和
 - 3 美藤まり奈
《春のいちばんはじめの日》
2024年 撮影者 富樫実和
 - 4 AYUMI ADACHI
《Ripple》2018年
撮影者 AYUMI ADACHI
- ※すべて作家所蔵



AYUMI ADACHI
BITO KEI
BITO MARINA

SHIGOSEN + ART II

開館40周年記念

子午線上のアートII展

AYUMI ADACHI

美藤 圭

美藤 まり奈

2024/12.15^{SUN} - 2025/3.23^{SUN}

10:00-17:00 入館 16:30 まで

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日(その日が土・日曜日の場合は除く)
※年末年始(12月29日(日)~1月3日(金))

大人 300円(250円) 65歳以上 250円(200円)

高大生 200円(150円) 小中生 100円(70円)

※()内20名以上の団体割引料金 ※障がい者割引有 ※コロナカード利用可
※割引を受けられる方は、証明のできるものをご提示ください
※にしわか経緯度地球科学館「テラ・ドーム」との共通券有

公益財団法人 西脇市文化・スポーツ振興財団
西脇市岡之山美術館

〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町345-1

Tel/Fax 0795-23-6223

E-mail okanoyamamuseum@galaxy.ocn.ne.jp

Web http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/

NISHIWAKI OKANOYAMA MUSEUM OF ART



イベント・ワークショップ等

詳細は決定次第ホームページ等でお知らせします。



主催 | 西脇市岡之山美術館
(公益財団法人 西脇市文化・スポーツ振興財団)

後援 | 西脇市、西脇市教育委員会、西脇市観光物産協会、豊岡市、
豊岡市教育委員会、豊岡観光協会

協力 | 神戸芸術工科大学岡本弘毅研究室

Access

電 車：JR加古川線「日本へそ公園」駅前
バ ス：大阪・三宮から神姫バス(西脇行き)
「西脇(アピカ)」からタクシー10分
自 動 車：中国自動車道・滝野社ICから15分

○当美術館は、横尾忠則と交流の深かった建築家磯崎新(1931~2022)による設計です。JR加古川線「日本へそ公園」駅の目の前にあります。近くには、建築家毛綱毅曠(1941~2001)設計によるにしわか経緯度地球科学館「テラ・ドーム」もあります。

○西脇市内には、横尾氏のY字路絵画シリーズのインスタレーションのもととなったY字路が12箇所点にあります。なかでも権坂Y字路は《黒い光 その1》(2018年)という作品として知られています。

